

お客さま本位の業務運営に関する取組状況および K P I 実績値の公表について

- ・ J A たかさは、『人と自然との調和を大切にし、農業の礎として「地域の人々の心豊かなくらし」と「潤いに満ちた社会づくり」に貢献します。』の経営理念のもと、「お客さま本位の業務運営に関する取組方針」を公表するとともに、地域のみなさまの様々なニーズに合ったサービスをご提供できるようにするための具体的な取組みを実践しており、今回その取組状況を公表いたします。
- ・ また、上記とあわせ金融庁より各金融機関に対し公表が期待される「お客様本位の良質な金融商品・サービスを提供する金融事業者をお客さまが選ぶうえで比較することのできる統一的な指標」（「比較可能な共通 K P I 」）も同時に公表いたします。

（注）共済事業は、当組合と全国共済農業協同組合連合会（J A 共済連）が、共同で事業運営しております。

高崎市農業協同組合

I.取組状況

1 組合員・利用者への最良・最適な商品、共済仕組みサービスの提供

(1) 信用の事業活動

【原則2本文および(注)、原則3(注)原則6本文および(注2、3、6、7)】

- ・ 特定の投資運用会社に偏ることなく、社会情勢や手数料の水準等も踏まえたうえで、お客さまの多様なニーズにお応えし、長期安定的な資産形成・運用に資する最適な投資信託を取り扱っております。なお、当組合は、金融商品の組成に携わっておりません。
- ・ JAバンク全体では商品新規導入を行う際は、第三者評価機関からの意見を伺いながら、お客様のニーズに合った商品を取入れ、パフォーマンスが芳しくない場合は取扱いを行わない等、定期的な商品ラインアップの見直しを行っております。それにより以下のように商品数が増減いたします。
- ・ なお、組合員・利用者の皆さまの最善の利益の実現につながる取組として、2025年度以降、金融商品を組成する投資運用会社との情報連携を開始予定です。

<投資信託の取扱い商品ラインナップ(2025年3月末時点)>

カテゴリ	国内	海外
債券型	1 (前年度末：1)	6 (前年度末：6)
株式型	4 (前年度末：4)	5 (前年度末：5)
REIT型	1 (前年度末：2)	2 (前年度末：2)
バランス型	8 (前年度末：8)	

<商品選定の考え方>

- ①長期投資
将来の備えに向けて、「長期投資」を前提とした投資信託であること
- ②手数料
手数料が良心的な水準であること
- ③運用実績
過去の運用実績が総体的に良好であること
- ④将来性
これからの将来に向けて資産を築いていく資産形成層に向けては、過度に分配金を捻出する投資信託でないこと
- ⑤運用体制
運用体制について外部機関の評価を得ていること

※商品選定の考え方：JAバンクHP
<https://www.jabank.org/sp/tameru/tousisintaku/select/>

※ 現在、新規でお申込みいただけないファンドも含まれておりますが、公社債投信は含んでおりません。

I.取組状況

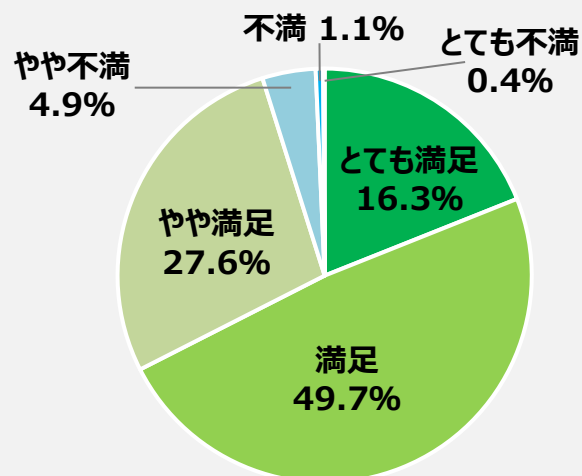
1 組合員・利用者への最良・最適な商品、共済仕組み・サービスの提供

(2) 共済仕組み・サービス

【原則2本文および(注)、原則3(注)、原則6本文および(注2、3、6、7)】

- J Aたかさきは、経営理念のもと、地域のみなさまの様々なニーズに合ったサービスをご提供できるよう、業務に取り組んでおります。当組合は、組合員・利用者の皆さまが生活や農業を取り巻く様々なリスクに対し、万全に備え、安心・安全な生活が送れるよう、最良・最適な共済仕組み・サービスを提供しております。
- なお、当組合は、市場リスクを有する共済仕組み（例：外貨建て共済）は提供しておりません。
- 令和6年度のJ A共済満足度調査※1における総合満足度※2は93.6%となっており、高水準を維持しております。

総合満足度（令和6年度調査結果）※2



$$\text{とても満足} + \text{満足} + \text{やや満足} = 93.6\%$$

93.6%のご利用者さまから「とても満足」「満足」「やや満足」の評価をいただいております。

一方で、4.9%の「やや不満」、1.1%の「不満」、0.4%の「とても不満」のご回答もいただいております。ご利用者さまの声を真摯に受け止め、サービス改善の取り組みを徹底してまいります。

※1 J A共済の仕組み・サービスをご利用いただいているお客さまを対象としたアンケート調査

※2 「とても満足」「満足」「やや満足」「やや不満」「不満」「とても不満」の6段階での評価とし、「とても満足」「満足」「やや満足」の合計の割合を総合満足度としています。

I.取組状況

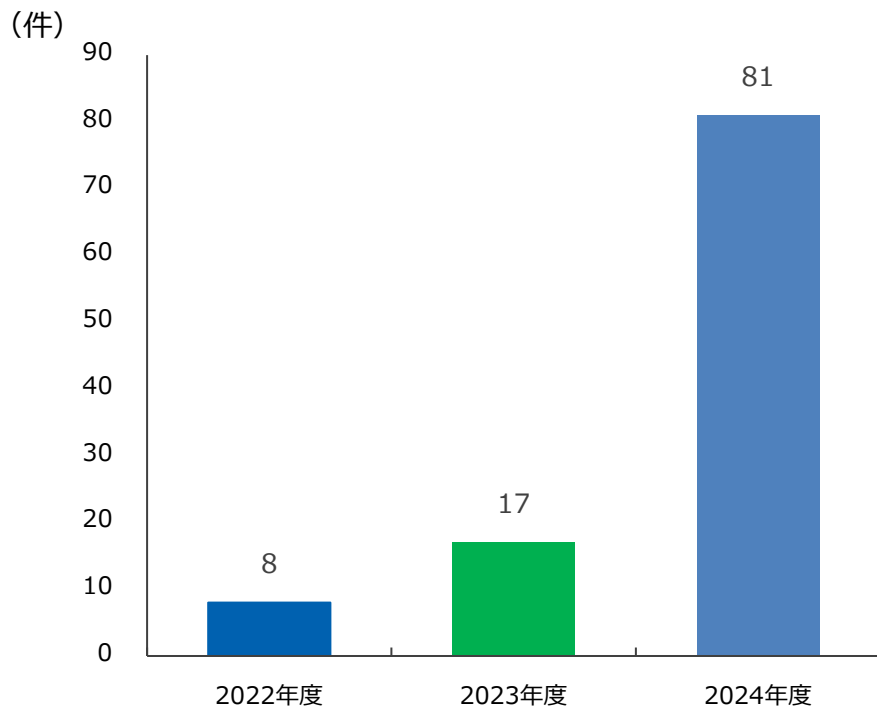
2 組合員・利用者本位の提案と情報提供①

(1) 信用の事業活動

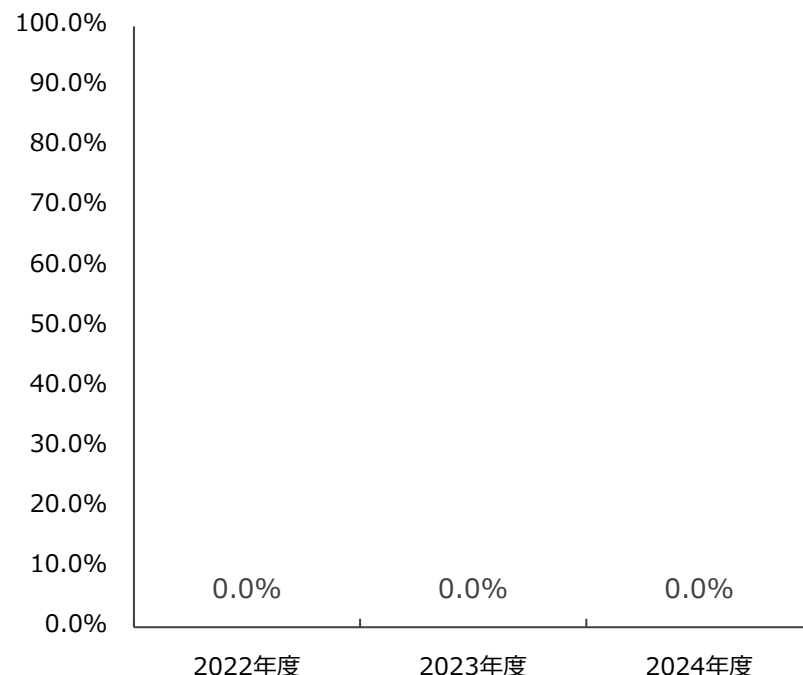
【原則2本文および(注)、原則5本文および(注1～5)、
原則6本文および(注1～7)】

- 組合員・利用者の皆様に安定的な運用成果をご享受いただくために、組合員・利用者の金融知識・経験・財産、ニーズや目的に合わせて適切な情報提供を行うとともに、分散投資・長期投資の有用性をご提案した結果、「投信つみたて」を利用される組合員等が増加しました。

＜投信つみたて契約件数の推移＞



＜購入額に占める毎月分配型ファンドの比率＞



I. 取組状況

2 組合員利用者本位の提案と情報提供②

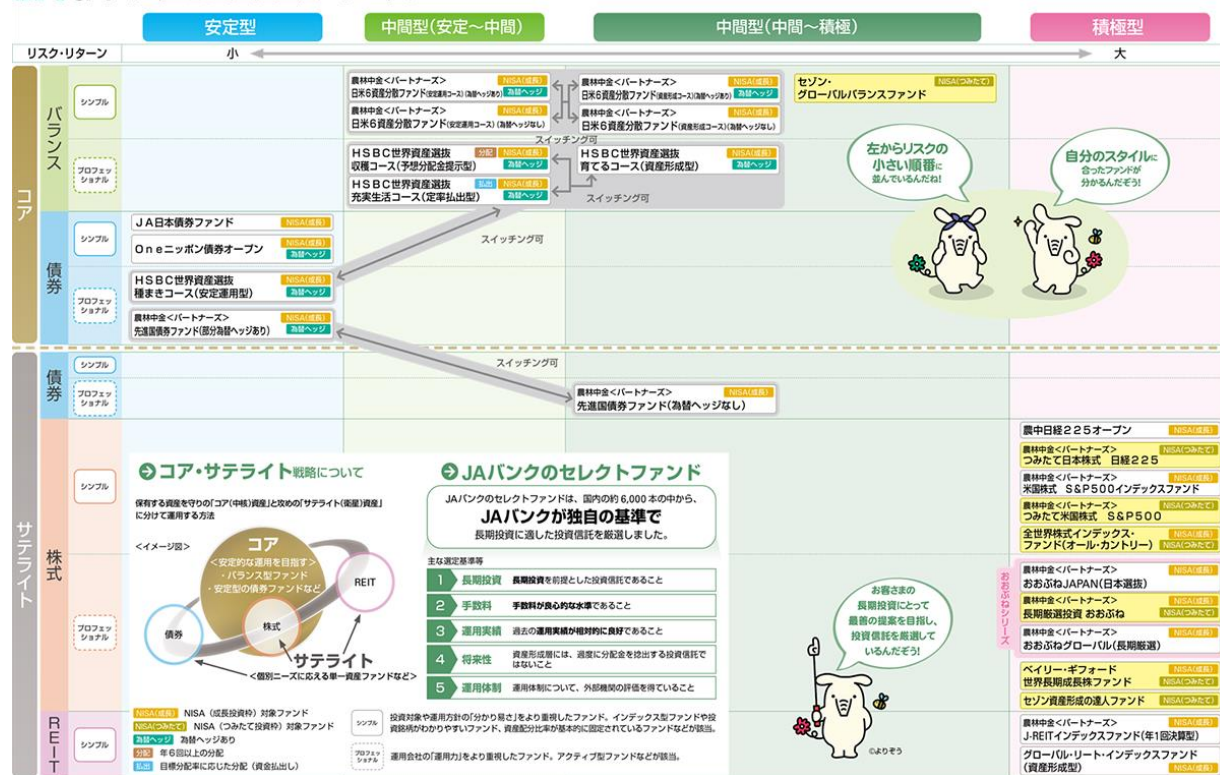
(1) 信用の事業活動

【原則4、原則5本文および（注1～5）、原則6本文および（注1～7）】

- 組合員・利用者の皆様の投資判断に資するよう、商品のリスク特性・手数料等の重要な事項について分かりやすくご説明し、必要な情報を十分にご提供するために、J Aバンクセレクトファンドマップ、資産運用ガイダンス、NISA（つみたて投資枠）ではじめよう等を活用のうえ簡潔かつ分かりやすい情報提供を実施しました。
- なお、2022年4月から重要情報シートを導入しております。

JAバンク セレクトファンドマップ

2025年6月



I.取組状況

2 組合員・利用者本位の提案と情報提供③

【原則4、原則5本文および（注1～5）、原則6本文および（注1・2・4・5）】

（2）共済の事業活動

① 公的保険制度についての情報提供

当組合は、お客さまの加入目的、収入・資産や家族構成等に照らして、ご意向に沿った最適な保障を選んでいただけるよう、説明用資材を活用し、公的保険制度を踏まえた保障内容・妥当な保障額の共済仕組をご提供しております。

② 意向把握・確認や重要事項説明の実施

保障のご提案時から契約締結までの各段階において、意向確認用資材を用いた丁寧なご意向の確認を実施しております。

公的保障ガイドブック



意向確認書

重要事項説明書



I.取組状況

2 組合員・利用者本位の提案と情報提供③

【原則4、原則5本文および（注1～5）、原則6本文および（注1・2・4・5）】

（2）共済の事業活動

③ ご高齢のお客さまへの取組み

特にご高齢のお客さまに対しては、説明用資材を活用するなど丁寧に分かりやすい説明を行い、ご高齢のお客さまのご家族も含め十分にご納得、ご満足いただけるよう、ご契約時にご家族にもご同席いただくなど、きめ細やかな対応を行っております。

なお、令和6年度のご高齢のお客さま対応におけるご家族・ご親族等の同席の割合は85.3%となりました。

④ 各種手続きやアフターフォローの実施

3 Q活動の実施により、お客さまへの情報提供や、お客さま本位で分かりやすい手続き・アフターフォローを実施しております。

※保障の加入にあたり、共済掛金の他に組合員・利用者の皆さまにご負担いただく手数料等はございません。

3 Q活動 説明用資材

The image displays three informational brochures for JA Bank's 3Q activity. The first brochure, titled "JA共済", features a woman and lists topics like "Today's internal flow", "Confirmation of mutual aid request", and "Confirmation of future peace of mind". The second brochure, "JA共済金のご請求もれの確認", details the mutual aid request process, including eligibility, documents, and payment methods. The third brochure, "今後もご安心いただけるかの確認", addresses common concerns: 1. Medical technology advances (e.g., cancer treatment costs), 2. Entry into nursing homes (e.g., costs and waiting lists), and 3. Decreasing death rates from major diseases (e.g., life expectancy and insurance benefits). It includes various charts and diagrams to illustrate these points.

I.取組状況

3 利益相反の適切な管理 【原則3本文および(注)】

- お客さまへの商品選定や情報提供にあたり、お客さまの利益を不当に害することがないように、「利益相反管理方針」に基づき適切に管理しております。
- 金融商品の販売・推奨等における利益相反が生じやすい場面において、重要情報シートの活用により利益相反が生じる可能性等について明示し、商品間の比較検討がしやすくなるよう努めております。

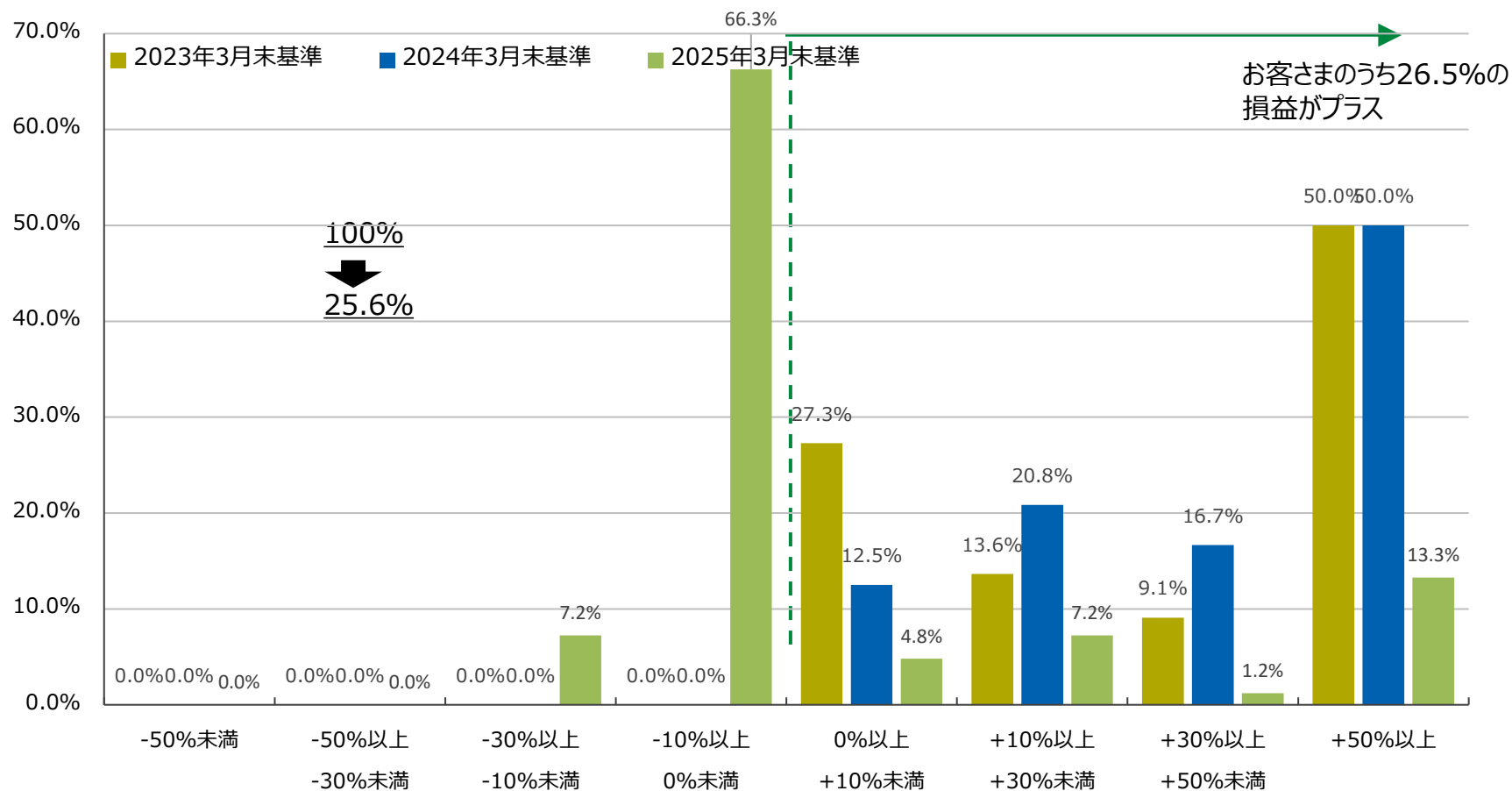
4 組合員・利用者本位の業務運営を実現するための人材の育成と態勢の構築 【原則2本文および(注)、原則6(注5) 原則7本文および(注)】

- 研修による指導や資格取得の推進を通じて高度な専門性を有し誠実・公正な業務を行うことができる人材を育成し、お客さま本位の業務運営を実現するための態勢を構築します。
人材育成に関しては、本所にインストラクター・トレーナーを配置し、担当者の指導・育成に努めております。
- お客さまの多様な資産運用等ニーズに対して、的確な金融商品・仕組み・サービスを提案するため、職員の知識向上を目的とした継続的・定期的な研修を実施するとともに、資格取得の支援等に取り組んでおります。外部資格については、証券外務員資格、ファイナンシャルプランナー、コンプライアンス・オフィサー、銀行業務検定等各種資格取得を推奨するほか、eラーニングによる自己啓発、各種外部研修等への積極的な参加を奨励し、お客さま本位の業務運営が定着するよう人材育成を行っております。また、お客さまの意向に沿った提案活動により、お客さま本位の業務運営に寄与する態勢の構築に努めております。
- その他、お客さまからいただく「お客さまの声」を真摯に受け止め、お客さまの視点に立って迅速、誠実かつ公正な対応を行うとともに、業務の向上・改善へとつなげております。

Ⅱ.比較可能な共通 K P I

1 運用損益別顧客比率（投資信託）

- 「運用損益別顧客比率」は、組合員・利用者の皆様へ長期・分散投資やつみたて投資をご提案してきたことにより、2025年3月末時点では全体の26.5%のお客さまの損益がプラスとなりましたが、2024年8月に米国の景気減速への不安と日銀利上げが引き金に株価が暴落したことで、損益のマイナスが高い結果となっています。

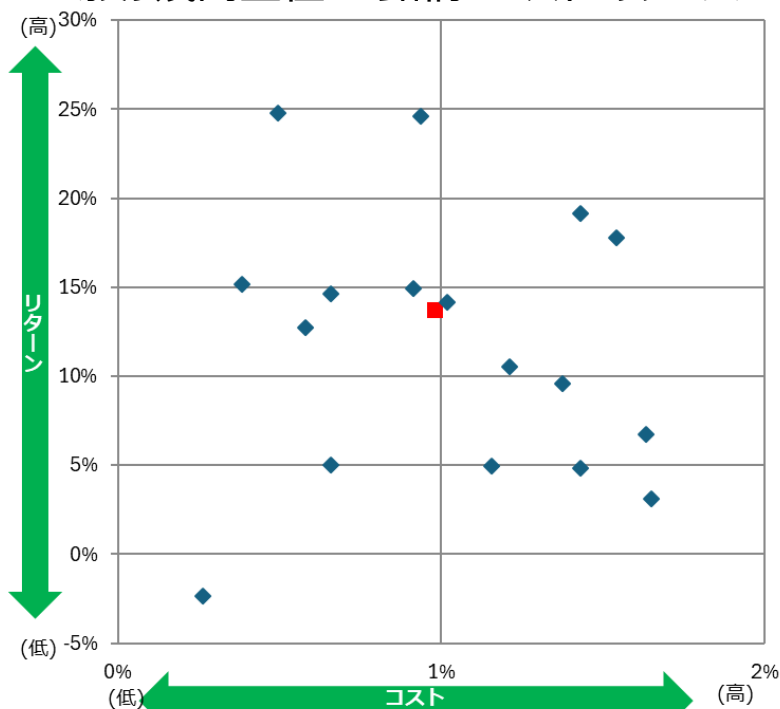


Ⅱ.比較可能な共通 K P I

2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン (1/3) (2025年3月末)

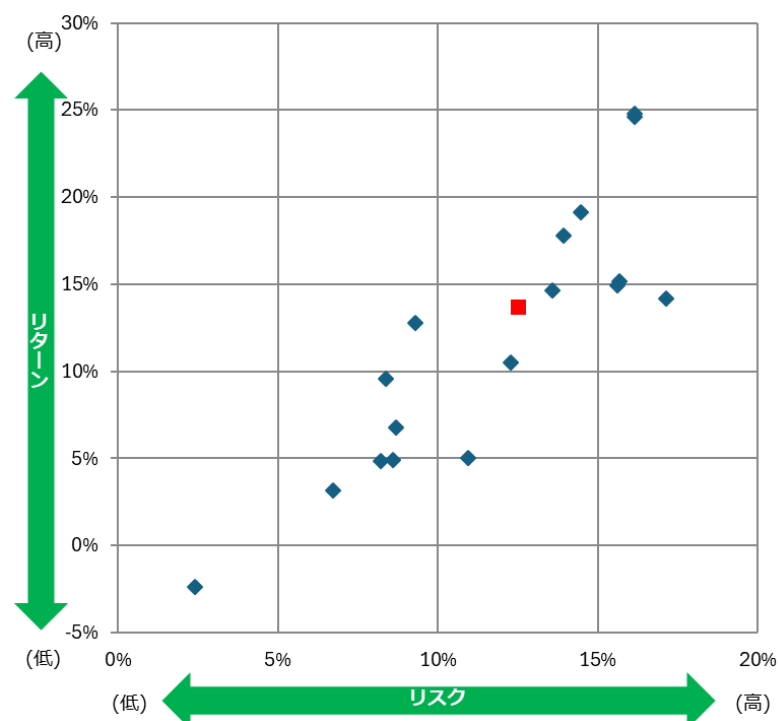
- ・ J Aバンクでは、取扱うファンドの運用実績を組合員・利用者本位の業務運営の観点に基づきチェックし、運用実績が優良なファンドを選定しております。
- ・ 2025年3月末時点の預り残高上位20銘柄の平均コスト0.98%、平均リスク12.52%に対して、平均リターンは13.69%でした。

＜預り残高上位20銘柄のコスト・リターン＞



※ 各ファンドのコスト・リスク・リターンは、次のページに記載しております。
※ 赤い点は平均値を示しています。

＜預り残高上位20銘柄のリスク・リターン＞

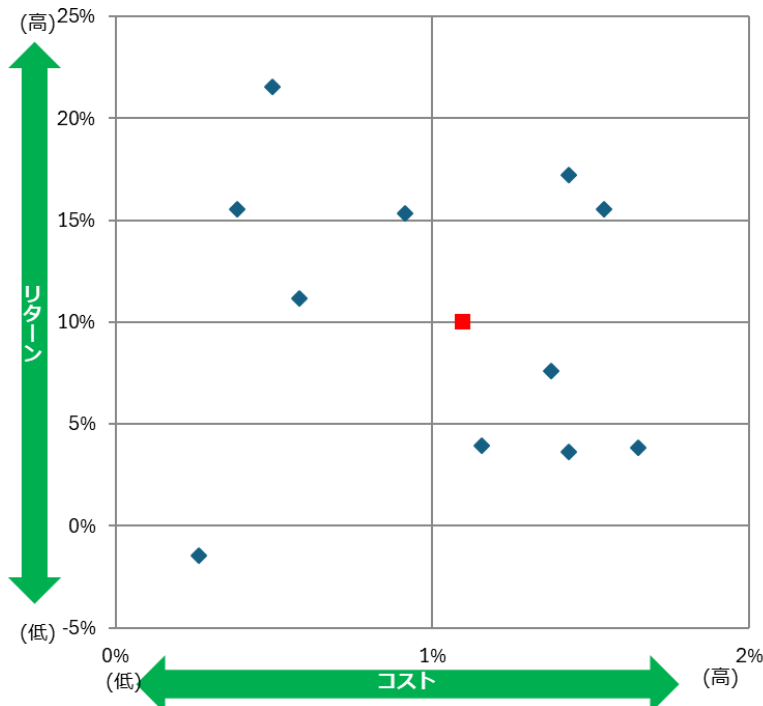


Ⅱ.比較可能な共通K P I

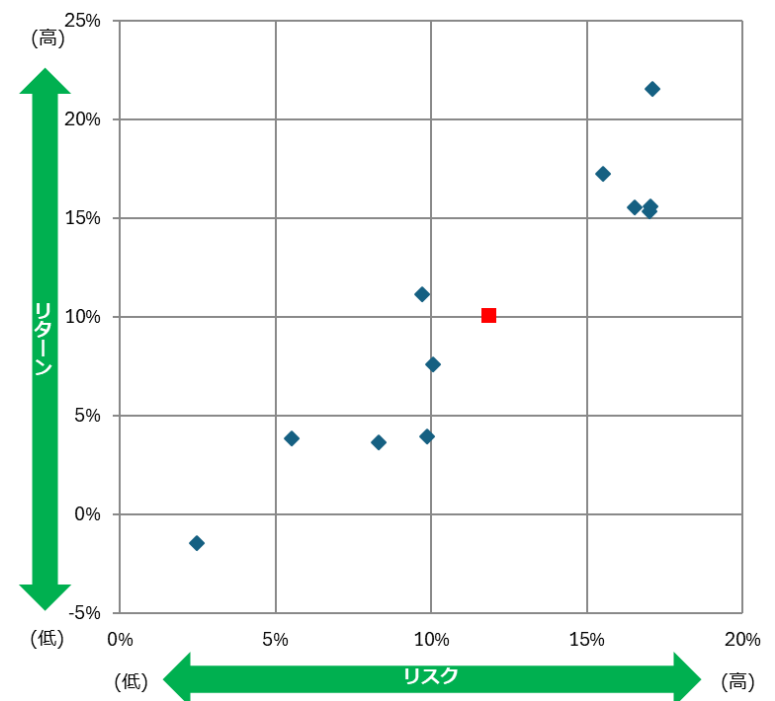
2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン（2/3）（2024年3月末）

- 2024年3月末時点の預り残高上位20銘柄のコスト1.09%、平均リスク11.87%に対して、平均リターンは10.04%でした。

＜預り残高上位20銘柄のコスト・リターン＞



＜預り残高上位20銘柄のリスク・リターン＞

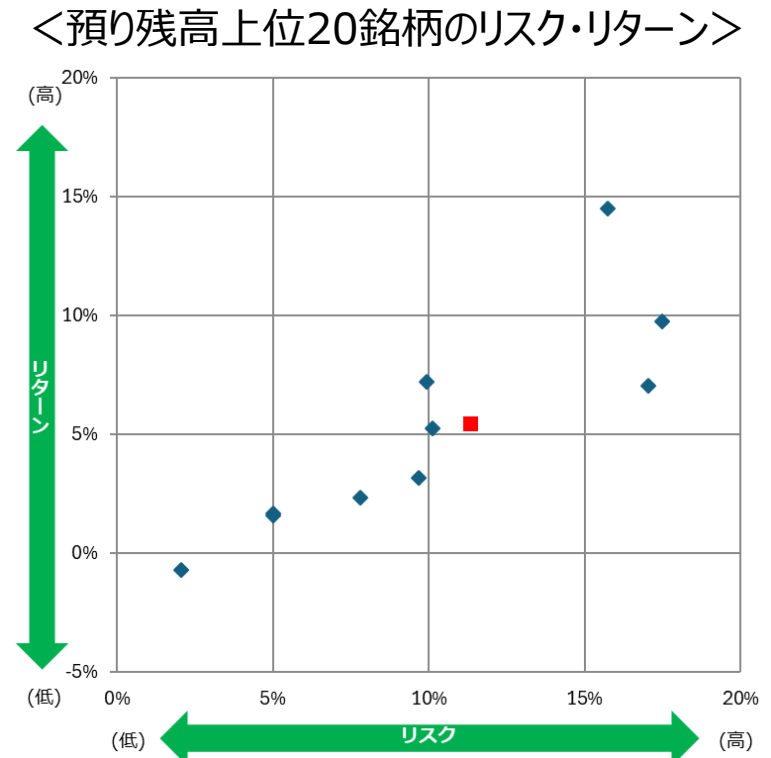
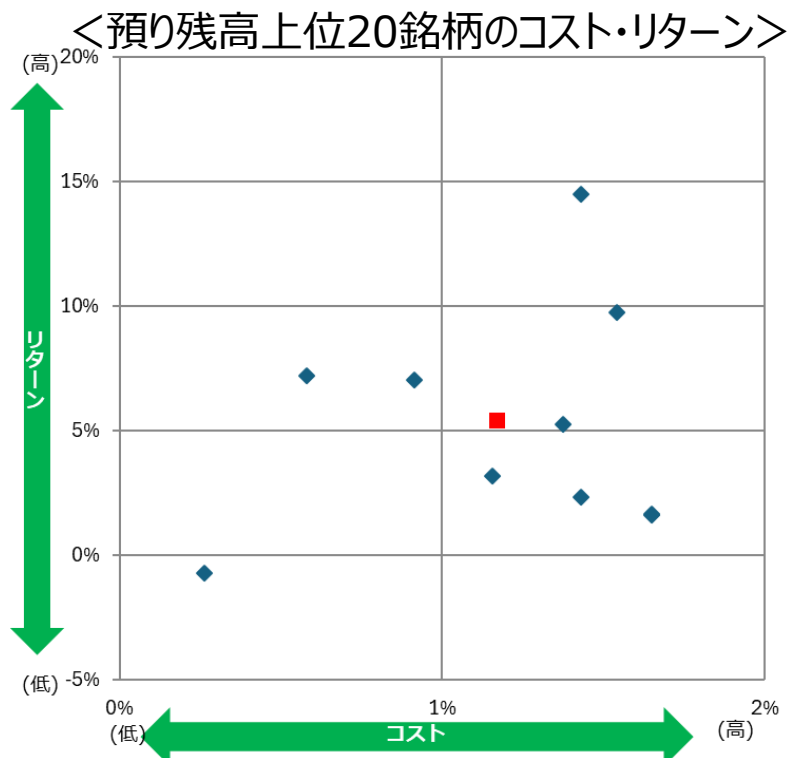


※ 各ファンドのコスト・リスク・リターンは、次のページに記載しております。
※ 赤い点は平均値を示しています。

Ⅱ.比較可能な共通 K P I

2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン (3/3) (2023年3月末)

- 2023年3月末時点の預り残高上位20銘柄の平均コスト1.17%、平均リスク11.36%に対して、平均リターンは5.41%でした。



※ 各ファンドのコスト・リスク・リターンは、次のページに記載しております。
※ 赤い点は平均値を示しています。

Ⅱ.比較可能な共通 K P I

3 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン（1/3）（2025年3月末）

	ファンド名	運用会社	リターン (年率)	リスク (年率)	コスト 全体
1	農中日経225オープン	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	14.96%	15.62%	0.91%
2	米国株式 S&P500インデックスファンド	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	24.62%	16.15%	0.94%
3	世界の財産3分法ファンド(毎月分配型)	日興アセットマネジメント(株)	9.60%	8.39%	1.38%
4	セゾン・グローバルバランスファンド	セゾン投信(株)	12.76%	9.29%	0.58%
5	おおぶね J A P A N (日本選抜)	農林中金バリューインベストメンツ(株)	10.52%	12.27%	1.21%
6	日米6資産分散ファンド(資産形成コース)	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	4.93%	8.59%	1.16%
7	J A 日本債券ファンド	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	-2.36%	2.41%	0.26%
8	D I A Mハッピークローバー毎月決算コース	アセットマネジメントOne(株)	4.84%	8.22%	1.43%
9	長期厳選投資 おおぶね	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	19.14%	14.48%	1.43%
10	つみたて米国株式 S & P 5 0 0	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	24.77%	16.16%	0.50%
11	おおぶねグローバル(長期厳選)	農林中金バリューインベストメンツ(株)	14.63%	13.58%	0.66%
12	セゾン資産形成の達人ファンド	セゾン投信(株)	17.77%	13.93%	1.54%
13	つみたて日本株式 日経225	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	15.19%	15.67%	0.39%
14	HSBC世界資産選抜 育てるJ-ス(資産形成型)	HSBCアセットマネジメント(株)	6.76%	8.71%	1.63%
15	J - R E I Tインデックス(年1回決算型)	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	4.99%	10.96%	0.66%
16	グローバル・リート・インデックスファンド(資産形成型)世界のやどかり	大和アセットマネジメント(株)	14.15%	17.14%	1.02%
17	J A 海外債券ファンド	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	3.13%	6.73%	1.65%
18					
19					
20					
	残高上位20ファンドの残高合計/残高加重平均値		13.69%	12.52%	0.98%

※ 2025年3月末基準時点における共通 K P I の対象となるファンド数は17本となります。

※ 当指標は、設立から5年が経過したファンドを対象として、リターン・リスク・コストを算出して表示しております。

Ⅱ.比較可能な共通 K P I

3 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン (2/3) (2024年3月末)

	ファンド名	運用会社	リターン (年率)	リスク (年率)	コスト 全体
1	世界の財産3分法ファンド(毎月分配型)	日興アセットマネジメント(株)	7.59%	10.06%	1.38%
2	農中日経225オープン	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	15.34%	17.00%	0.91%
3	セゾン・グローバルバランスファンド	セゾン投信(株)	11.15%	9.72%	0.58%
4	D I A Mハッピークローバー毎月決算コース	アセットマネジメントOne(株)	3.64%	8.31%	1.43%
5	日米6資産分散ファンド(資産形成コース)	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	3.95%	9.89%	1.16%
6	セゾン資産形成の達人ファンド	セゾン投信(株)	15.53%	16.54%	1.54%
7	長期厳選投資 おおぶね	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	17.22%	15.52%	1.43%
8	つみたて日本株式 日経225	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	15.57%	17.06%	0.39%
9	J A 海外債券ファンド	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	3.82%	5.52%	1.65%
10	つみたて米国株式 S & P 5 0 0	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	21.55%	17.11%	0.50%
11	J A 日本債券ファンド	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	-1.47%	2.46%	0.26%
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
	残高上位20ファンドの残高合計/残高加重平均値		10.04%	11.87%	1.09%

※ 2024年3月末基準時点における共通 K P I の対象となるファンド数は11本となります。

※ 当指標は、設立から5年が経過したファンドを対象として、リターン・リスク・コストを算出して表示しております。

Ⅱ.比較可能な共通 K P I

3 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン (3/3) (2023年3月末)

	ファンド名	運用会社	リターン (年率)	リスク (年率)	コスト 全体
1	世界の財産 3 分法ファンド (毎月分配型)	日興アセットマネジメント (株)	5.23%	10.14%	1.38%
2	農中日経 2 2 5 オープン	農林中金全共連アセットマネジメント (株)	7.05%	17.04%	0.91%
3	D I A Mハッピークローバー毎月決算コース	アセットマネジメントOne (株)	2.31%	7.81%	1.43%
4	セゾン・グローバルバランスファンド	セゾン投信 (株)	7.18%	9.92%	0.58%
5	J A 海外債券ファンド (隔月分配型)	農林中金全共連アセットマネジメント (株)	1.59%	5.00%	1.65%
6	日米 6 資産分散ファンド (資産形成コース)	農林中金全共連アセットマネジメント (株)	3.16%	9.68%	1.16%
7	セゾン資産形成の達人ファンド	セゾン投信 (株)	9.73%	17.50%	1.54%
8	長期厳選投資 おおぶね	農林中金全共連アセットマネジメント (株)	14.48%	15.74%	1.43%
9	J A 海外債券ファンド	農林中金全共連アセットマネジメント (株)	1.64%	5.00%	1.65%
10	J A 日本債券ファンド	農林中金全共連アセットマネジメント (株)	-0.72%	2.06%	0.26%
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
	残高上位20ファンドの残高合計/残高加重平均値		5.41%	11.36%	1.17%

※ 2023年3月末基準時点における共通 K P I の対象となるファンド数は10本となります。

※ 当指標は、設立から5年が経過したファンドを対象として、リターン・リスク・コストを算出して表示しております。